

平成30年8月1日
東部農林振興センター松江農業普及部安来支所

標 題	「有機農産物等の理解促進研修会」を開催
-----	---------------------

(ダイジェスト)

有機農産物等に対する理解を促進するため、安来市内において栄養士等と有機野菜生産農家との交流研修会を行いました。

7月23日、技術普及部有機農業普及課と松江農業普及部安来支所の共催により、標記の研修会を安来市で開催しました。

本研修会は安来市内の学校・保育所の栄養・調理士と、松江市および出雲市在住のフリーの管理栄養士に対して、有機農産物や県エコロジー農産物への理解を深めることを目的に行いました。

研修の中で、農産園芸課有機農業グループから制度や本県の取組内容について説明があった後、市内で有機野菜の生産を行っている岸川勉氏の話聞き、圃場を見学しました。

岸川氏からは、就農からこれまでの歩みを振り返り、経営力に合った増棟計画の必要性、同氏が主宰する生産グループ「赤江・オーガニックファーム」結成の経過、地域活動への参加がグループ拡大の助けになったこと、そして、有機農業への思いなどを熱く語られました。

支所からは、安来市内で有機・エコロジー農産物に取り組む生産者が130人を越えるということや主な有機・エコ農家の紹介を行い、参加者からはその生産者数の多さへの驚きや、有機農産物をもっと活用したいとの意見が寄せられました。

「地元の有機・エコ農産物を買うことが、生産者の経営の持続性につながる」という認識が共有できた今回の研修を契機として、支所としても有機・エコ農産物の生産量を増やし、市内産直店舗への販売コーナーを増やすなど、消費者に積極的にPRする取組みを進めていくこととしています。



岸川農園での視察